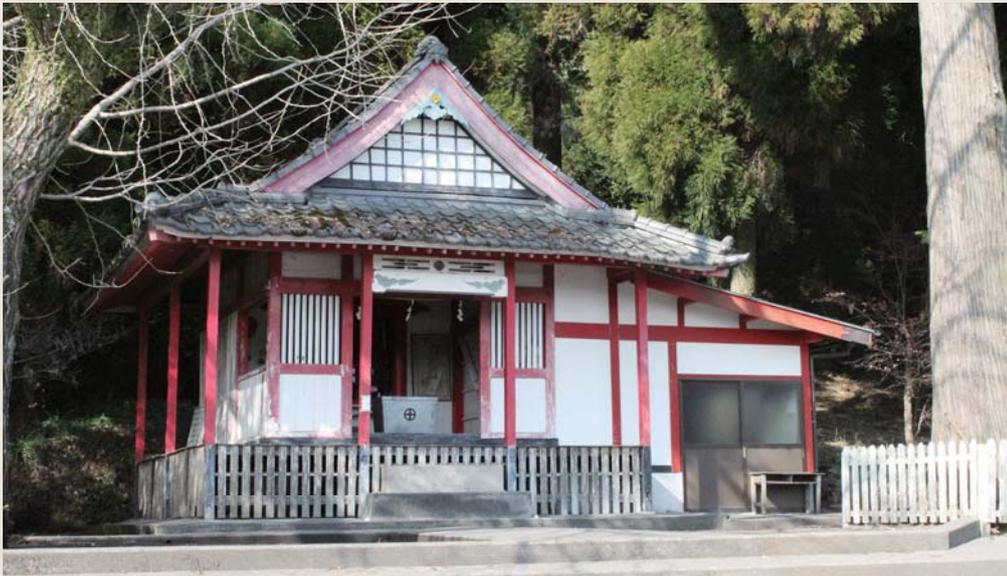


歴史を歩く 57

～ おおさきの歴史を旅してみませんか ⑳
 移住の歴史と開拓の精神が息づく地域(野方荒佐野) ㉑
 ㉒
 ㉓
 ㉔



12 観音堂

享保 18 年 (1733 年) に琉球王から島津氏に献上された観音像が、丸に十の字の幕とともに荒佐野に贈られた。

後の寛保 2 年 (1742 年) に観音寺が開山する。現在の観音堂は廃仏毀釈後の明治 21 年 (1888 年) に造立された。



13 夫婦杉

観音堂造立時に植樹された 2 本の杉。

かつては枝が手を取り合うような形で絡んでいたことからこの名がついた。

現在は、台風で枝が折れてしまっている。



14 照日神社境内の植物

宝暦 4～6 年 (1754～1756 年) に境内に杉 5,000 本、松 2,000 本、楠 500 本が植えられ、鎮守の森を形成していた。しかし、太平洋戦争で軍用材として伐採される。

現在、クス、スギ、マテバシイ、サカキなどの樹木約 30 種、ヤブミョウガ、ウラジロ、ササキなど約 40 種の植物が植生している。これら植物群は昭和 51 年 (1976 年) に町天然記念物に指定された。



照日神社周辺